第３期末（2025年９月22日）	
基準価額	21,714円
純資産総額	3,655億円
騰落率	29.5%
分配金	0円

ニッセイNASDAQ100インデックスファンド<購入・換金手数料なし>

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

作成対象期間:2024年９月21日～2025年９月22日

第３期(決算日 2025年９月22日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイNASDAQ100インデックスファンド<購入・換金手数料なし>」は、このたび第３期の決算を行いました。

当ファンドは「ニッセイNASDAQ100インデックスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に米国の株式等（DR（預託証券）を含みます）に投資することにより、NASDAQ100指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年６月21日に約款変更を行い、ファンド名称を「<購入・換金手数料なし>ニッセイNASDAQ100インデックスファンド」から「ニッセイNASDAQ100インデックスファンド<購入・換金手数料なし>」に変更しました。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506
(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ https://www.nam.co.jp/

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

ニッセイアセットマネジメント株式会社
NISSAY ASSET MANAGEMENT
東京都千代田区丸の内1-6-6

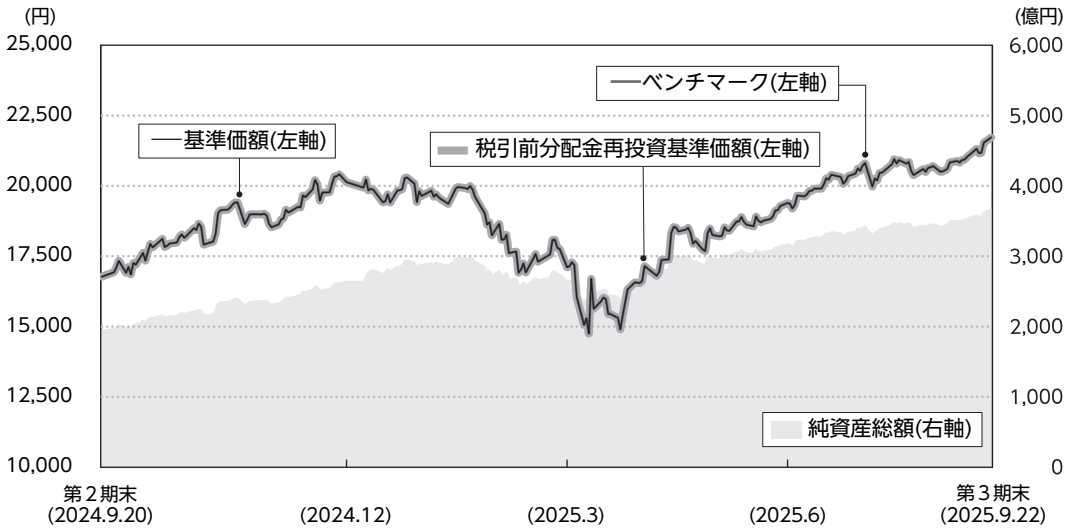
当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書（全体版）

UD FONT
ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過 2024年９月21日～2025年９月22日

基準価額等の推移



第３期首	**16,771円**	**既払分配金**	**0円**
第３期末	**21,714円**	**騰落率**（分配金再投資ベース）	**29.5%**

（注１）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）ベンチマークはＮＡＳＤＡＱ１００指数（配当込み、円換算ベース）で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

・2024年11月の米大統領選におけるトランプ氏勝利により減税・規制緩和政策への期待感から株価が上昇したこと
・2025年５月から６月にかけて、米中関税交渉の進展期待が広がり株価が持ち直したこと

＜下落要因＞

・２月下旬から３月にかけて、米関税政策を巡る不透明感により主力ハイテク株に売りが膨らんだこと
・３月から４月にかけて、トランプ米政権による相互関税政策の発表を受けて投資家心理が悪化し株価が下落したこと

１万口当たりの費用明細

項目	第３期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	39円	0.205%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×$\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は18,854円です。
（投信会社）	(24)	(0.127)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(10)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	0	0.001	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
（株式）	(0)	(0.000)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.000)	
その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.004)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	40	0.210	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

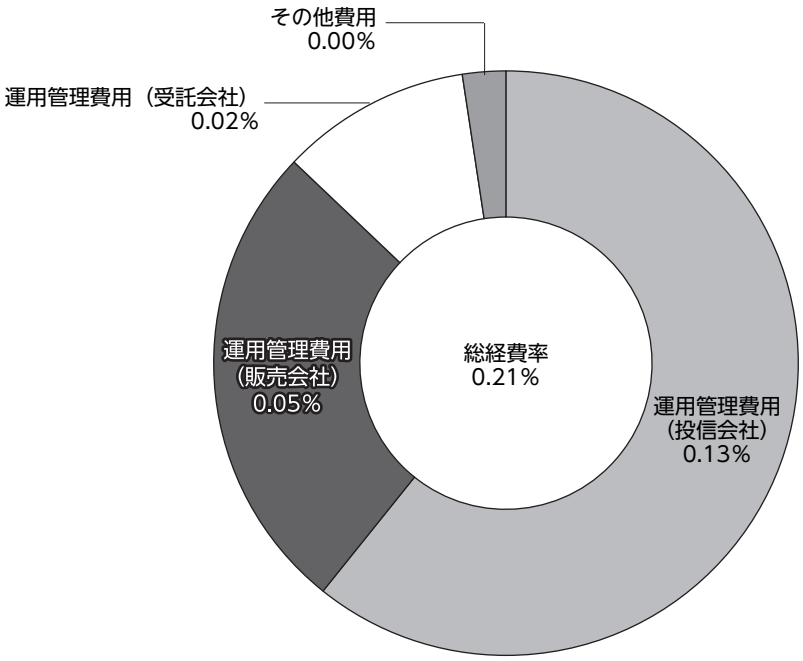
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

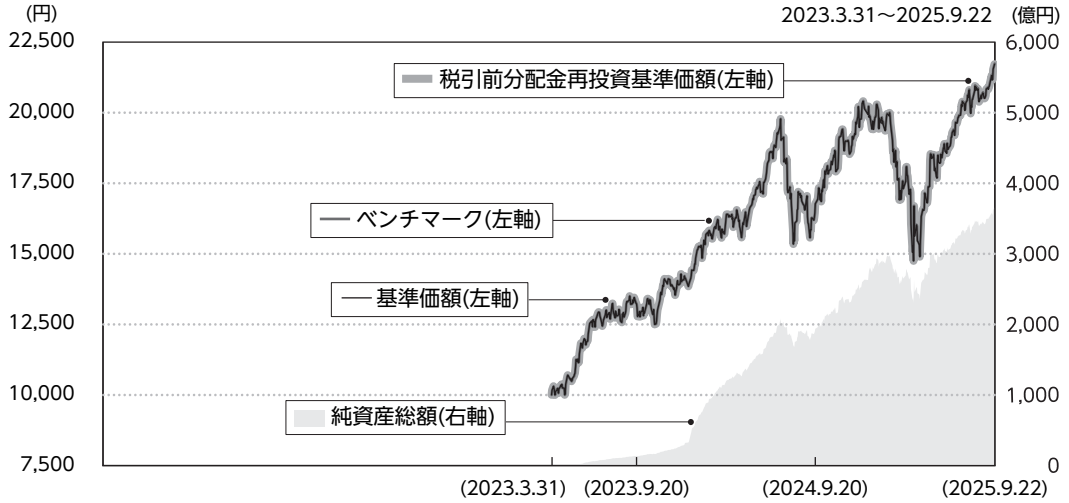
■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.21％**です。



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は年率換算した値です。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）当ファンドの設定日は2023年３月31日です。

（注２）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

（注３）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注４）ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

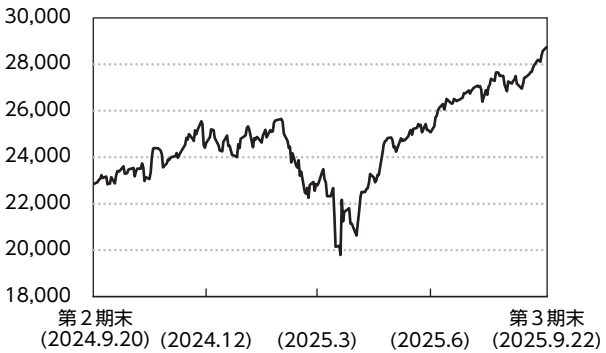
決算日		2023年 3月31日	2023年 9月20日	2024年 9月20日	2025年 9月22日
基準価額（分配落）	(円)	10,000	13,225	16,771	21,714
期間分配金合計（税引前）	(円)	－	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	－	32.3	26.8	29.5
ベンチマーク騰落率	(%)	－	32.3	26.9	29.6
純資産総額	(百万円)	1	13,448	193,817	365,593

（注）設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

投資環境

■米国株式市況

【　ＮＡＳＤＡＱ１００指数
（配当込み、米ドルベース）の推移　】

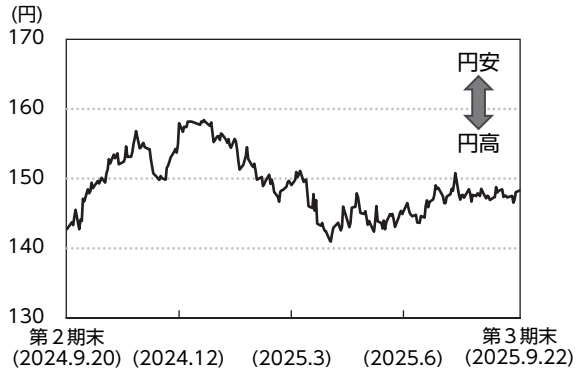


（注）Nasdaq社のデータを使用しています。

米国株式市場は期を通じて見ると上昇しました。
期初以降、米金利の上昇懸念を背景に株価は下落しましたが、11月の米大統領選でトランプ氏が勝利したことや米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による利下げ決定を受けて２月下旬まで上昇基調となりました。その後は関税政策の不透明感で一時的に下落したものの、期初を上回る水準で当期末を迎えました。
期初から10月にかけてＦＲＢの大幅利下げ実施や中国の大規模な景気刺激策への期待感の高まり、生成人工知能（ＡＩ）関連をけん引する米半導体企業の強気な見通しなどから上昇しました。11月から12月にかけては、米大統領選におけるトランプ氏の勝利を背景に規制緩和や減税期待等で株価が上昇した一方、ＦＲＢの利下げペース鈍化懸念や中国の景気刺激策に対する失望感などから上げ幅を縮小しました。2025年初から２月にかけては、生成ＡＩインフラ投資の相次ぐ発表や金融セクターの好業績などから株価は上昇したものの、トランプ米大統領の追加関税導入に伴う景気悪化懸念等が強まり、方向感のない動きとなりました。３月から４月にかけては、米関税政策の不透明感や政策強硬姿勢などから売りが優勢となり下落しました。５月以降は米英間での貿易協定締結合意や米中間での追加関税引き下げ合意、中東情勢の緊張緩和や米早期利下げ期待の高まりなどが好感され、当期末にかけては関税交渉の進展観測や対中輸出規制の緩和、米利下げ観測が強まったことなどを背景に上昇する展開となりました。

■為替市況

【米ドル／円レートの推移】



（注）対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは期を通じて見ると米ドル高円安となりました。
期初から12月にかけては、米利下げペースの鈍化や日銀の利上げ見送りなどから米ドル高円安となりましたが、１月以降は日銀の追加利上げや米関税政策への懸念、米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）の独立性への不安拡大等を受け、米ドル安円高が進みました。
５月下旬以降は米相互関税政策に対する懸念の後退や参院選後の日本の財政拡張への警戒感などから米ドル高円安となりましたが、その後、８月以降は米利下げ観測の高まりやトランプ米大統領によるＦＲＢ理事解任表明の報道などを背景に米ドル安円高となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

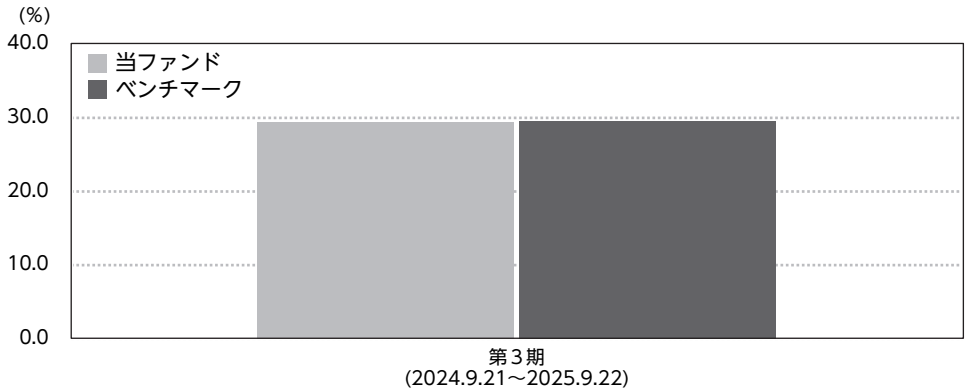
マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

米国の株式等（ＤＲを含みます）に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。

＊ベンチマークはＮＡＳＤＡＱ１００指数（配当込み、円換算ベース）です。ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

ベンチマークとの差異



当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は＋29.5％となり、ベンチマーク騰落率（＋29.6％）にほぼ連動しました。

（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（１万口当たり）】

項目	当期 2024年９月21日～2025年９月22日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	11,714円

（注１）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に米国の株式等（ＤＲを含みます）に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

■マザーファンド

米国の株式等（ＤＲを含みます）に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第３期末 2025年９月22日
ニッセイＮＡＳＤＡＱ１００ インデックスマザーファンド	100.0%

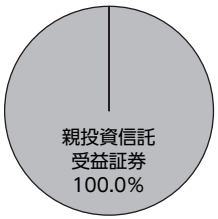
（注１）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

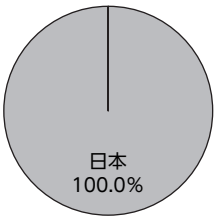
項目	第３期末 2025年９月22日
純資産総額	365,593,918,062円
受益権総口数	168,364,556,458口
１万口当たり基準価額	21,714円

（注）当期間中における追加設定元本額は83,045,639,314円、同解約元本額は30,249,749,057円です。

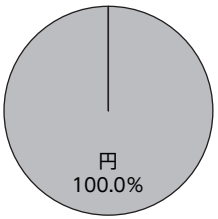
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2025年９月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイＮＡＳＤＡＱ１００インデックスマザーファンドの概要

■基準価額の推移



（注）ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■上位銘柄

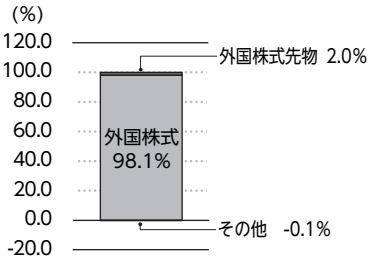
銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	米ドル	9.2%
MICROSOFT CORP	米ドル	8.2
APPLE INC	米ドル	7.8
BROADCOM INC	米ドル	5.7
AMAZON.COM INC	米ドル	5.3
META PLATFORMS INC-A	米ドル	3.6
TESLA, INC.	米ドル	3.3
ALPHABET INC-CL A	米ドル	3.2
ALPHABET INC-CL C	米ドル	3.0
NETFLIX INC	米ドル	2.7
組入銘柄数	102	

■１万口当たりの費用明細

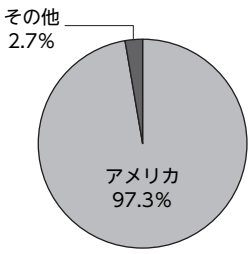
2024.９.21～2025.９.22

項目	金額
売買委託手数料	0円
（株式）	(0)
（先物・オプション）	(0)
有価証券取引税	0
（株式）	(0)
その他費用	1
（保管費用）	(1)
（その他）	(0)
合計	1

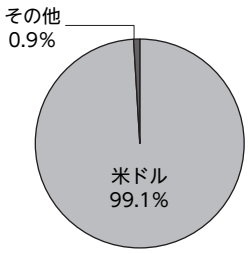
■資産別配分



■国別配分



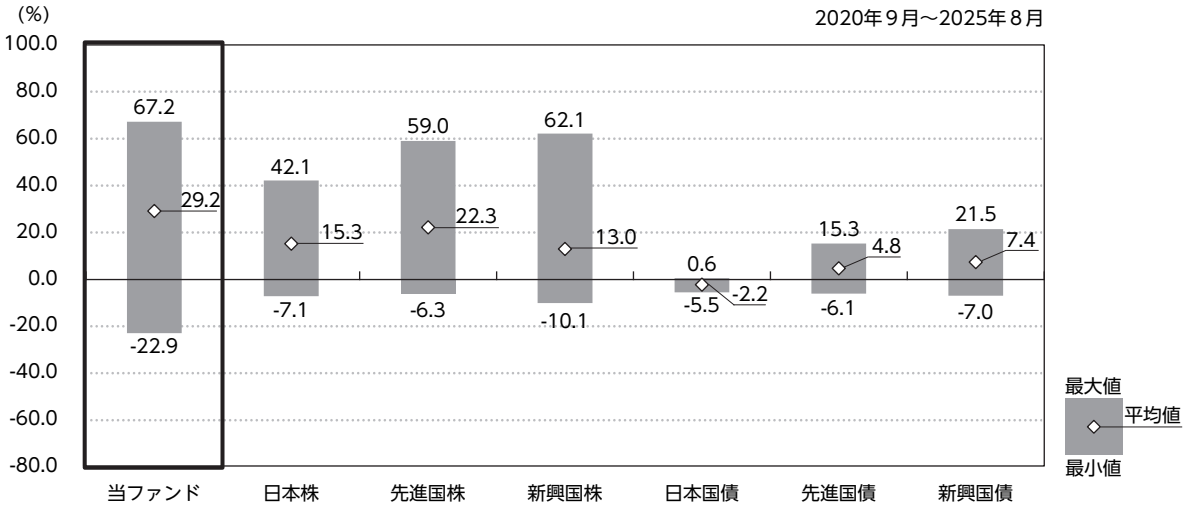
■通貨別配分



（注１）基準価額の推移および１万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。
（注２）上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年９月22日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
（注３）国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。
（注４）全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注１）上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

（注３）当ファンドについては設定日以降のデータが５年分に満たないため、設定日以前のデータはファンドのベンチマークを用いて騰落率を算出しています。したがって、すべてがファンドの実績ではありません。

＜代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数＞

- 日 本 株・・・ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ 国債
- 先進国債・・・ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

＊各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ファンドのベンチマーク等について

・ＮＡＳＤＡＱ１００指数（配当込み、円換算ベース）

当ファンドは、Nasdaq, Inc.またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc.およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。Nasdaq社は、当ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。Nasdaq社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性やNasdaq-100 Index®の一般的な株式市況への追随可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。Nasdaq社とニッセイアセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq®およびNasdaq-100 Index®の登録商標ならびにNasdaq社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびにニッセイアセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、Nasdaq社が決定、構築および算出を行うNasdaq-100 Index®の使用を許諾することに限られます。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Index®の決定、構築および計算に関し、ニッセイアセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。Nasdaq社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。Nasdaq社は、当ファンドの管理、マーケティングまたは取引について責任を負いません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Index®とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。Nasdaq社は、Nasdaq-100 Index®またはそれに含まれるデータの利用により、ニッセイアセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。Nasdaq社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつNasdaq-100 Index®またはそれに含まれるデータの利用に関する特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、Nasdaq社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。なお、「円換算ベース」とは同指数をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

■代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

・ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

・ＭＳＣＩコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ 国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。

・ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

・ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイドは、ＪＰモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものととらえています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

（2025年４月１日）

■約款変更

以下の変更に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。

①運用報告書に関する記載の変更

（2025年４月１日）

②ファンド名称を「ニッセイＮＡＳＤＡＱ１００インデックスファンド＜購入・換金手数料なし＞」に変更

（2025年６月21日）

当ファンドの概要

商品分類		追加型投信／海外／株式／インデックス型
信託期間		無期限
運用方針		ニッセイＮＡＳＤＡＱ１００インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に米国の株式等（ＤＲ（預託証券）を含みます）に投資することにより、ＮＡＳＤＡＱ100指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。
主要運用対象	ニッセイNASDAQ100インデックスファンド＜購入・換金手数料なし＞	ニッセイＮＡＳＤＡＱ１００インデックスマザーファンド受益証券
	ニッセイNASDAQ100インデックスマザーファンド	米国の株式等（ＤＲを含みます）
運用方法	ニッセイNASDAQ100インデックスファンド＜購入・換金手数料なし＞	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイNASDAQ100インデックスマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。